カトリック高松教区報

2005年7月3日(第107号)
発行所 カトリック高松司教区
広報委員会
〒760-0074
高松市桜町1-8-9
TEL　087-831-6659
FAX　087-833-1484
Email tkcuria@mxi.netwave.or.jp

聖体の年にちなんで

高松教区長　溝部　脩

聖体の年にちなんで主日のミサということを考えてみましょう。聖体とミサは分けて考えることはできません。ミサの中に聖体があり、ミサを通さなければ聖体の意味が分からないからです。それにはまずミサの意味を分かることから始めないといけません。

ミサとは何でしょう。ミサはいけにえです。イエス様は十字架上でご自分を父なる神様に捧げます。全ての人の願いを携えて父なる神にご自分を捧げます。イエス様は人々のために捧げられたいけにえだからです。父なる神様は、イエス様が十字架上でご自分の全てを捧げているのをご覧になって、人々の願いを聞いてくださいます。この世界にある多くの悲惨と苦悩をいやしてくれるのはイエス様だけなのです。ミサを通して、全世界の悲惨と苦悩がいやされていくのです。ミサの大切さというのは「人々のために」あるということをまず考えさせてくれています。

ところが、ミサの中で私たちもいけにえとなって、自分を捧げるのです。イエス様といっしょに私たちもミサを捧げています。私たちも人々の願いを携えて、イエス様と一緒に十字架上で自分を捧げるいけにえなのです。父なる神さまは、私たちの願いをも聞き入れて、人々に必要な恵みを施します。こうして、ミサの特徴は「人々のためにある」ということがお分かりになるでしょう。私たちがどうしてミサを大事にするかがこれで分かってきます。私たちのミサは全世界の苦悩と悲惨をいやすためのものなのです。心地よい気分に浸るためにミサがあるのではなく、また自分たちの仲間内の楽しみのためでもなく、ましてや義務だからミサに与るのでもありません。ミサに与る度毎に「人々のために」捧げるという行為をしないといけません。

こうして毎日のミサを通して世界に救いが実現します。私たちは少数者ですが、イエス様と一緒に捧げるミサを通して、世界に新しいいのちを生み出していくという大事な役割が与えられているのです。繰り返します。ミサは人々のために捧げられるものです。もし私たちが自分の楽しみのために、自分が清清しい気持ちになるためだけでしたら、余り意味がありません。イエス様と一緒に人のために生きることを約束することがミサだからです。

ミサは毎日ありますが、特に教会が大切にしているのは主日のミサです。それは教会が心を一つにして、小教区共同体とし

はばたき

◆緑色の海と島々が広がる来島海峡・キリシタン時代、この海を往還したであろう宣教師たちをいつも思う。深い信仰心と宣教への熱い使命感で目を輝かせた彼らに現実は厳しかった。航海中、人々は異様な風体の彼らを邪魔者扱いし、天候不順を彼らのせいにし小さな港に置き去りにもした。そんな過酷な中でさえ彼らは人々にみことばを述べ伝え洗礼を授けた。四国初のキリシタンの誕生だった。◆私たちは彼らの熱い思いを忘れてはならない。そんな宣教師たちがいたと言うことを考えることが、これから「一致」を目指して船出する私たちの心の支えになると思うからだ。◆「前進するより他に一致の道は開けません」という溝部司教様の初の司教教書が発表された。『過去のことにとどまることのないように』が一つのポイントだろう。溝部司教様を船頭として、新しい船を漕ぎ出そうではないか。心を一つにして・・・・

6月5日「教区子どもの集い」のミサ

て、人々のためにミサを捧げるからです。そこで大切なのは、主日のミサの意味を勉強することです。余りにも習慣的に行っていないか、反省する余地がないでしょうか。その意味が分かるには読書、聖歌、典礼行為、これらをしっかりと準備することです。教会は何よりも主日のミサに全力を投球することを命じています。典礼委員会は名前だけのものであってはいけません。典礼とは何かをまず勉強しないといけません。どのように会衆が祈ることができるか、どのように朗読を理解できるか、奉仕する役割が典礼委員です。聖歌隊も同じです。典礼にあわせて、また会衆に合わせて、どの歌を選ぶか、聖歌の歌い方はどうあるべきか、少し勉強する必要があります。教会は主日のミサにいのちをかけているからです。

紙数に限りがあり、一度に全てを述べることができません。別の機会を設けて少しずつ典礼の大切さをお伝えしたいと思っています。

新司祭ルイジ・シメオニ神父の抱負

私はルイジです。四人兄弟で末子です。三二歳です。一九九六年一一月二五日に日本に来て、この日は記念として心に残っています。今度の叙階式の時に主が私の人生に行った業のために心からの感謝を表したい。私はイタリアの北東地方の小さな村に生まれ育てられて、高校を卒業した後働き始めましたが、人生の展開をはっきり見えなかった時期があったし、私の上に神様の御心が何であったか分からなかった。またそれを探し出そうとしなかった。その時私が求めていたことは普通に若者に与えられるこの世の幸せ、つまり苦みとむなしさしかもたらさない幸せ。しかし神様がしつこく福音を述べ伝えてくれたある人を通して私を捜してくださった。その福音とは神様が罪人の私をそのまま愛してくださり、いつも赦してくださると言う言葉で、それによって私の人生が変わりました。又、私は日本についてほとんど何も知らなかったので、やはり日本に来るのは神様の導きによるとしか言えないのです。神学校時代はすばらしい思い出になりました。そして忍耐を持って私を指導して信仰を深めるのに助けてくださった神学校の養成者に感謝したい。なお今までの私の人生の中でもう一つの大事な経験はオーストラリアに宣教者として二年間送られたこと。その時人々の心を変える力ある神様の言葉を体験しました。又、二〇〇四年一二月八日溝部司教による高松司教座聖堂で助祭叙階式を受けてこれも神様の恵みでした。今は世界中に大きな変化が起こっています。選ばれたばかり教皇ベネディクト一六世に心の一致があることを感じます。この教皇様も先任者とおなじく宣教活動に力を入れています。人間の心を満たすことができることが、キリストだけですべての人は彼と出会う必要があるからです。神様が私を日本で教会に奉仕するようにここまで導かれました。謙遜な心を持ってすべての人に心より貢献することが出来るよう、神様のみ旨にいつも従いたい心を私に与えられますように皆さんの祈りをお願いします。

ルイジ・シメオニ

新教区司祭誕生

六月一二日、ルイジ司祭が誕生した。故郷イタリアからは、ご尊父様をはじめ三一名、国内からは司教、司祭、修道者、信徒四〇〇名を超す方々が神様のお恵みに感謝し、お祝いするために集まり、決して広くない司教座聖堂は満杯になった。教区長溝部司教様にとっては、はじめての司祭叙階であり、訓話では「聖霊による一致」を目指す高松教区づくりの強力なメンバーとなるべく、本物の従順を力説された。これから、とくに高松教区民の祈りに支え

られて、神の代理者としての若者の挑戦が始まる。

浜口末雄神父記

司教の按手
（叙階式にて）

ルイジ神父は、四国カトリック会館の管理者兼司教秘書として、司教館（カトリック会館）で勤務します。

青少年委員会報告

現在、私たちの一番の動きはケルン大会に行くための準備です。

１　ケルン大会のための最初の準備会が四月九、一〇日松山の中島で行われました。三十数名が集まり、ケルンに行くために私からの説明や前の大会に参加した方の体験を聞いて準備をしました。ケルン大会の時のカテケージスの準備と、また日本の文化の紹介のため阿波踊りの練習をしました。

２　二回目は五月一四、一五日にわたって高知市中島町教会で行われ、五〇名以上の参加者があり、盛り上がりました。一四日は司教様が主にカテケージスのことに力を入れて、祈りも含め二時間行われました。夕食の後、阿波踊りの練習と私からの説明をしました。一五日は一三人の堅信式が行われたことが最も印象に残る集まりになりました。

中島町教会での準備会

次の集まりは七月の予定です。

中島町教会　ジュード神父

高松教区司牧評議会設立に向けて

去る五月七日、教区信徒協の今年度第三回役員会が開かれました。詳細はいつもの通り、小教区に送られる議事録を参照して頂くことにしますが、今回の役員会は、司牧評議会の骨子が大体決定したことです。今日は、司牧評議会の構成メンバーをお知らせします。それは、

司教、司教総代理、教区事務局長、教区会計、修道女連盟代表二名、信徒代表八名（各県二名）、司教の指名する者若干名

です。

発足は今年度末か、来年早々になる見込みで、それに伴って教区信徒協は解散されることになります。

なお、今年度の信徒協の事業と協力事業は滞りなく実施されます。それは、

七月九日、一〇日　教区女性研修会（高松）
八月二七日、二八日　教会学校教師研修会（香川）
九月三日、四日　教区信徒研修会（高知）
九月一九日　二〇〇五高松教区民のつどい（松山）

などです。教区信徒協最後の行事となりますので、担当者一同張り切って準備を進めています。皆様方のお祈りと御協力をお願いします。

教区信徒協会長　田井貞良

「高松教区子どもの集い」報告

「いのちのパン～とって食べなさい～」をテーマとして、六月四、五日に「高松教区こどもの集い」が開催されました。一三の小教区より、小中学生約六〇名、高校・大学・教会学校のリーダー約二〇名、サポーターの信徒約二〇名の計一〇〇名がさぬき市長尾の聖母幼稚園に集まりました。

「食べる事」をポイントに、初日はまず体の糧であるカレーライス作りを各班に分かれて行いました。じゃがいも、にんじんの形がそれぞれ違うなど五つ（班）の味のカレーライスがおいしく出来上がり、子どもたちはたくさんお代わりをしていました。

夕食後、心の糧である御聖体についてのカテケージスが行われました。この日のために準備をしてくださったサレジオ修道会の辻家神父様、宮崎カリタス修道女会のシスター下崎の指導のもと、

辻家神父様のカテケージス

また、教会学校のリーダーによる聖劇を交えるなど、子どもたちは御聖体について理解を深めることができました。

引き続き司教様の司式のもと、聖体顕示式、キャンドルサービス、聖体賛美の厳粛な雰囲気の中で聖体の礼拝が行われました。

翌五日は、感謝の祭儀で始まり「ミサはいけにえです。自分を与えることです。今日このミサ（集い）を終えて帰るとき、自分のことばかり考えないで、他の人のことを考えられる子どもになりましょう。」と司教様のお話がありました。

「カレーライス　おいしかった！」
「新しいお友達ができてよかった！」
「ご聖体のことがよく分かった！」
「早く私もご聖体をいただきたい！」

プログラム最後の分かち合いでの子ども達の言葉です。子ども達の喜ぶ姿がみられ、多くの人たちに支えられて、この集いを行うことができとても感謝しています。

番町教会　河合良治

一口メモ
カテケージス＝「要理教育」。児童、青年、大人への信仰教育一般を指す。

各地区だより

巡礼の恵み

二〇〇五年四月二日、午後九時五四分（日本時間三日午前四時五四分）、第二六四代教皇ヨハネ・パウロ二世御逝去の時、私はローマの地にいました。「ペトロ・カスイ岐部神父の足跡と列福を求める巡礼」団の一員として。

溝部司教様を団長とするこの巡礼は、岐部神父を含む一八八人の日本の殉教者の列福を教皇庁列聖省にお願いに行くこと、そして岐部神父のローマ・ポルトガルでの足跡を辿ることを目的としていました。

私は、昨年愛媛松山教会で開催された信徒研修会での溝部司教様の講話のなかで紹介された岐部神父の生き方に深い感銘を受けていましたので、この巡礼があることを知った時、何も考えずにすぐに申し込んでいました。岐部神父の、前に前に、つまり天国へ天国へと突き進んでいこうとする生き方に、少しでも触れることが出来ればと願ったからです。

今泉さん
バックはサンピエトロ寺院

ローマに着いたその夜、ホテルのテラスで遠くから聞こえるサンピエトロ寺院の鐘の音を聞きました。その直後テレビは教皇ヨハネ・パウロ二世の死を伝え、広場に集まった一〇万とか二〇万の人々が映し出されていました。その人々の中の一角から拍手で教皇様の死にむくいている人々が映し出されましたが、教皇様の天国への凱旋を信じ喜んでいる姿はとてもきれいでした。

教皇庁列聖省でお話をお聞きしたなかで、列福されるのは、まず司教がその人の列福を願うこと、その人の聖性を認めること、などいろいろな条件がありますが、それを決めるのは、人々の声、「この人は聖人だった」という声が大切ですということでした。その意味では亡くなられた教皇ヨハネ・パウロ二世は聖人に近い人だと多くの人が思っているのではないでしょうか。岐部神父とおなじように、前に前に進んだ教皇様の一生は、ある意味では現代の殉教のようにも思えました。

私たち巡礼団はヨハネ・パウロ二世のご遺体が聖ペトロ大聖堂に移される日の朝、聖ペトロと歴代の教皇様が埋葬されている地下聖堂で溝部司教様司式のミサに与ることが出来ました。一生忘れることの出来ない大きなお恵みでした。

亡くなられた教皇様を慕い二〇万人の人で埋め尽くされている聖ペトロ広場で今から三八三年前の一六二二年に聖フランシスコ・ザビエルと聖イグナチオ・ロヨラの列聖式が行われ、そこに岐部神父が参列したであろうという溝部司教様のお話は、神様の大きな計画を私に悟らせてくださいました。

終わりに、巡礼に仙台、東京、九州、などから参加した皆さんが、高松教区のために沢山のお祈りをしてくださっていることを、みなさんにお伝えし、全てのものへの感謝の気持にかえさせていただきたいとおもいます。

郡中教会　今泉洋子

乙女峠まつり

五月晴れに恵まれたＧＷの半ば、三八名の巡礼団が大型バスに乗って高松

から山口県の津和野へ巡礼に出かけました。片道五時間位の旅でしたが、バスの中でも隣り合わせたホルヘ神父様のカテケージスやバスガイドさんの説明を聞きながら新鮮味のある旅となりました。このカテケージスによって新求道共同体の霊性を幾分か察することができたように思います。哲学や神学によらず、よみがえったキリストとの出会いによって心が変わっていくという生身の体験から信仰を培って行こうとする道のように思えました。

　さて、一日目はサビエル記念聖堂を訪れました。山口県ではザビエルではなくサビエルで名が通っているようで、標識などもサビエルでした。ここは、一階がキリシタンの遺物や絵画、彫刻等を集めた博物館になっており、二階が聖堂になっていました。それは独特の雰囲気のする聖堂で、修道者達が水と光と幕屋をイメージして設計したものだそうです。青を基調としたステンドグラスに手や星や自然、優しく見つめる神様の目、十字架の血などがシンボリックに描かれていました。博物館には聖パウロ三木の胸像や踏み絵などが展示されていて興味深かったです。

津和野教会からの行列

　夜は、湯田温泉に宿をとり、おいしい料理と楽しい催しでくつろぎました。食事の後もサビエルビールを飲みながら松永神父様、ホルヘ神父様、田井会長、多田さん、山下さんなど大勢で分かち合いました。ガス抜きという方もいましたが、日頃から高松教区について感じていることを素直に開き合い、互いの理解と一致の絆を深めるものになったと思います。そしてロザリオを唱えて締めくくるという高尚なガス抜きになりました。

　二日目は乙女峠祭りに参加しました。津和野教会から行列を組み、ロザリオを唱えながら歩き、野外ミサに与りました。溝部司教様の司式で殉教者の生きた時代背景に触れ、巧みな説教で明治維新の頃にタイムスリップしたような気になり、殉教者の歴史認識を深めることができました。

　初めての巡礼でしたが実り多いものとなりました。ありがとうございました。

徳島教会　松田栄作

この巡礼は桜町教会創立五〇周年記念行事の一つとして、同教会が主催したものです。

司教日程

７月２日（土）信徒協役員会
　３日（日）桜町教会５０周年式典
　７日（木）常任司教委員会、WYD集会（東京）
　９日（土）～10日（日）
　　教区女性研修会（高松）
　12日（火）司祭評議会
　17日（日）八幡浜教会
　24日（日）徳島ファミリーデイ参加
　25日（月）大阪管区代表者会議
　31日（日）西条教会
８月１日（月）～２日（火）
　　聖ヨゼフ会幼稚園研修会
　５日（金）広島平和ミサ参加

　19日（木）～26日（金）
　　ケルン世界青年大会参加
　28日（日）～31日（水）
　　教区司祭黙想会
９月３日（土）～４日（日）
　　高松教区信徒研修会（高知）
　８日（木）常任司教委員会
　11日（日）新居浜教会
　13日（火）司祭評議会
　19日（月）２００５高松教区民のつどい
　23日（金）～25日（日）
　　新潟教区教区大会
　28日（水）全国カトリック老人ホーム
　　研修会

各県コーナー

徳島県の巻

ヨハネ・パウロ二世教皇への追悼

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。」

戦争の悲惨さを憂い、涙を流され祈るパパ様のお姿がテレビ画面に映し出された。まさにカルワリオの丘で祈るキリストの祈りと重なった。核拡散防止のために、国益に不利になる敵対国を制裁し、経済侵略を正当化、またその精神性の裏づけに宗教が後押しをしている。その多くがキリスト教国であることが、

1982年ご復活祭に

私には理解しがたい。そんな当事国の指導者たちに臆することなく、平和の尊さを訴え続けた。パパ様は無力感に支配されることなく、祈りと行いをもって、平和の完成に燃え尽きた。

「人類は自滅すべく定められているものではありません。」

パパ様の最後の言葉は復活祭の謁見に訪れた多くの若者に対し

「私はあなたたちのためにここにいます。」

と、未来を担う若者に平和の完成を託し、祝福した。戦争は若者の生命の破壊である。アジアの果て日本から巡礼に訪れた私たちを最前列に招き、謁見させていただいたときも、パパ様の頭がたれていたのが印象的だった。（マザーテレサも同じく頭をたれていた。）

「暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。」

（ルカ１・79）

鳴門教会聖体奉仕者　林　広

沖に漕ぎ出そう！ケルンへ向けて

八月、ドイツで開催されるワールドユースデー（ＷＹＤ）に向けて大会に参加する青年もしない青年も共に準備をして行こうとの趣旨で、その第一回目を愛媛県の中島ドミニカンハウスで、そして第二回目の合宿を五月一四日（土）一五日（日）高知中島町教会において行いました。溝部司教様を中心に四〇名程の青年とアシスタントが集合しました。このうち約三〇名がケルンへ行きます。

ＷＹＤのプログラムの中核をなすのは、最後の五日間において司教によるカテケージス・ゆるしの秘跡を経て十字架の道行き、徒歩巡礼、世界中からの友と共に野宿し、教皇司式ミサで締めくくるという聖週間の典礼をモデルにしたものです。今回は、その呼び水となるカテケージスに与らせて頂きました。司教様が青年たちに問いかけます。「どうして今、ここにいるのか？」「何のために洗礼を受けたのか？」青年たちがこたえます。こどもの頃を振り返り、或は内なる自分に聴きながら・・・司教様の言葉は聖霊の風となり、青年たちの心を揺さぶります。地上のものばかりに目を奪われがちな現代社会の中で、ふと天を仰いだ時、私たちを照らす天上の光に気づき、胸の高鳴りを覚えることがあります。東方の賢者たちが星に導かれて旅したように、わが教区の青年たちもケルンへのイエスとの出会いの旅に出発します。

ケルンへ持っていくおみやげの一つに阿波踊りがあります。居残り組の私も、心はケルンとばかり

お昼のガーデンパーティ

に正統派阿波踊りを皆に覚えてもらうべく協力しています。

なぞのスリランカ人ジュード神父とダンス好きのニカラグア人ホルヘ神父が同行する巡礼の旅は、アドベンチャーに富んだ、喜びいっぱいの楽しいものになるに違いありません。

参加する皆さん、高松教区へたくさんのおみやげを持って帰ってきてくださいね。希望いっぱいに待っています。

青少年委員会アシスタント
徳島教会　山口文子

ヨハネ・パウロ二世教皇様の思い出

一九八三～八四年私はイタリア政府から奨学金をいただいて、国費留学をしておりましたが、一人の日本人のお嬢さんを、洗礼に導くお手伝いをさせていただくことになりました。そして、八四年の復活祭にヴァチカン広場の真夜中のミサで、教皇様から直接洗礼を授けていただくという、夢のようなお話が実現することになりました。私は、代母としてその準備をさせていただいたのです。誰しも、それほど簡単に教皇様から直接洗礼をいただくなどということができないことを、知れば知るほど震えるような恐れと感動を味わったことは昨日のように思い出されます。そして、それはいうまでもなく、私の人生でも、特別な特別な出来事として一生の宝となりました。ところが、そのことがご縁で教皇様とは、その後、何度もお引き合わせいただき、額に祝福をいただいたり、メキシコからお持ち帰りのソンブレロを被らせていただいたり、最後に、日本に帰るときは、私の霊名である聖女クララ様の御遺物をいただくなど、身にあまるお恵みを頂くことになりました。それは、教皇様

バチカン広場の洗礼式

から特別愛されておりました、西山神父様のお取り計らいでもあったかと思います。でも、あるとき、沢山の巡礼者や時には南米からはるばるヴァチカンに巡礼にこられた、宣教司祭様たちが一生懸命手を差し伸べていらっしゃるのを見たとき、私だけが特別個人的に直接握手をしていただき、祝福をいただくことができるなんてと、申し訳ないと思ったこともございました。でも、それは徴税人マテオが召し出しを受けたとき、「なぜ私が」、と思ったように、神様は貧しい私をお選びになったのだと思いました。あの教皇様のお優しいみ手の感触は、決して忘れることはできません。そして、今私にできることは、大学生を前にして、教皇様がもっとも深く願っておられた平和と命の大切さを、日本の若者に伝える使命を託されたことなのではないかと、思いを新たにしているところです。

今、教皇様は、私たちのもっともっとお近くにいらっしゃるように思います。教皇様、ありがとうございました。そして、どうぞ世界の人々を、また、日本の人々を守り、お導きください。

徳島教会　酒井ツギ子

シルバー神父様
徳島県から表彰される

阿南教会主任司祭シルバー神父様は、長年、私立幼稚園の園長、また、学園理事長を務めてこられましたが、その功績が認められ、公共の教育の増進に尽くした功労者として、徳島県から表彰されました。表彰式は各分野で功績のあった四三名とともに、六月三日（金）午後一時半から県庁で行なわれました。

資　金　収　支　計　算　書　1

宗教法人　　カトリック高松司教区　　自　２００４年　１月　１日
教区本部会計（基金、事務、指定）　　至　２００４年１２月３１日

経常支出の部				経常収入の部			
コード	科目名	金額	備考	コード	科目名	金額	備考
	宗教活動支出	36,237,578			宗教活動収入	66,120,369	
	宗教活動費	4,697,210			献金収入	28,582,417	
831	祭議費	0		612-1	月定献金収入	0	
832	行事費	4,373,780		612-2	ミサ献金収入	0	
833	布教教化費	0		612-3	特別献金収入	0	
834	教育養成費	18,450		612-4	特別事業献金収入	12,176,364	
835	諸会費	6,000		612-5	臨時献金収入	0	
836	図書資料費	0		612-6	祭儀収入	0	
837	出版刊行費	0		612-7	教区維持献金収入	0	
838	教区維持費	0		612-8	本部費	15,956,053	
841	諸活動費	298,980		612-9	墓地等使用料収入	450,000	
842	一般・特別寄付金	0					
	指定献金支出	6,136,265			指定献金収入	7,379,338	
843-1	児童福祉献金	1,771,814		613-1	児童福祉献金	1,570,082	
843-2	広報の日献金	405,736		613-2	広報の日献金	358,246	
843-3	世界難民移住移動者の日	399,481		613-3	世界難民移住移動者の日	380,432	
843-4	世界宣教の日献金	488,376		613-4	世界宣教の日献金	431,706	
843-5	宣教地司祭育成献金	814,053		613-5	宣教地司祭育成献金	422,574	
843-6	聖ペトロ聖座献金	522,458		613-6	聖ペトロ聖座献金	393,191	
843-7	愛の運動献金	827,343		613-7	愛の運動献金	843,070	
843-8	一粒会献金	542,000		613-8	一粒会献金	2,692,591	
843-9	聖地献金	331,004		613-9	聖地献金	223,446	
843-10	教区の日献金	34,000		613-10	教区の日献金	64,000	
	維持管理費	2,144,133		613-11	墓地管理収入	128,000	
844	施設設備修繕費	1,816,968					
845	備品修繕費	0			寄付金収入	16,132,049	
846	墓地管理費	40,175		614-1	特別寄付金収入	0	
847	火災保険料	286,990		614-2	一般寄付金収入	10,375,639	
				614-3	司祭寄付金収入	5,756,410	
	人件費	6,877,861					
848	司祭給与	3,977,500			補助金収入	0	
849	職員給与	2,329,948		614-5	教区本部補助金	0	
851	法定福利費	520,623		614-6	その他の補助金	0	
852	退職金	0					
853	福利厚生費	49,790			分担金収入	13,898,565	
				614-7	分担金収入	13,898,565	
	事務運営費	16,382,109					
854	消耗品費	1,236,010					
855	消耗備品費	343,950					
856	通信費	1,237,659					
857	渉外費	3,027,087					
858	旅費交通費	1,400,244					
859	水道光熱費	3,851,687					
861	租税公課	1,478,700					
862	支払手数料	584,922					
863	自動車諸費	1,074,913					
864	会議費	402,734					
865	賃借料	567,000					
869	雑費	1,177,203					
	事業支出	0			事業収入	131,650	
712-1	駐車場事業支出	0		615-1	駐車場事業収入	0	
712-2	施設設備利用支出	0		615-2	施設設備利用収入	131,650	
712-3	宗教用品仕入支出	0		615-3	宗教用品売上収入	0	
	その他の支出	5,711,065			その他の収入	3,120,092	
921	支払利息	0		911	受取利息	430,568	
922	雑支出	453,428		912	受取配当金	0	
923	補助金支出	150,000		913	電話使用料収入	0	
924	分担金支出	5,107,637		914	雑収入	2,689,524	
925	司教館建設資金献金支出	0		915	司祭館建設資金献金収入	0	
	経常支出合計	41,948,643	B		経常収入合計	69,372,111	A

	固定資産取得支出	19,558,665			固定資産売却収入	0	
941-1	土地取得支出	0		931-1	土地売却収入	0	
941-2	建物取得支出	18,816,000		931-2	建物売却収入	0	
941-3	建物付属設備取得	742,665		931-3	建物付属設備売却	0	
941-4	構築物取得支出	0		931-4	構築物売却収入	0	
941-5	車両運搬具取得支出	0		931-5	車両運搬具売却収入	0	
941-6	器具備品取得支出	0		931-6	器具備品売却収入	0	
941-7	祭儀備品取得支出	0		931-7	祭儀備品売却収入	0	
941-8	電話加入権取得支出	0		931-8	電話加入権売却収入	0	
９４２	特定預金積立金支出	10,836,630		９３２	特定預金取崩収入	0	
	その他の支出	15,879,303			その他の収入	10,607,605	
943-1	借入金返済支出	3,154,466		933-1	借入金収入	0	
943-2	貸付金支出	6,000,000		933-2	貸付金回収収入	2,500,000	
943-3	預り金支出	6,521,276		933-3	預り金収入	6,844,385	
943-4	立替金支出	203,561		933-4	立替金回収収入	1,263,220	
943-5	仮受金支出	0		933-5	仮受金収入	0	
943-6	仮払金(前払費用)支出	0		933-6	仮払金（前払費用)収入	0	
943-7	雑　損　失	0					
９４４	特別補助金支出	0		９３４	特別補助金収入	0	
	財務支出合計　Ｄ	46,274,598			財務収入合計　Ｃ	10,607,605	
	支出合計　Ｆ＝Ｂ＋Ｄ	88,223,241			収入合計　Ｅ＝Ａ＋Ｃ	79,979,716	
４４２	＊次期繰越金　Ｈ	48,267,838		４５１	前期繰越金　Ｇ	56,511,363	
	合　　計　Ｆ＋Ｈ	136,491,079			合　　計　Ｅ＋Ｇ	136,491,079	

資　金　収　支　計　算　書　２

宗教法人　　カトリック高松司教区　　自　２００４年　１月　１日
国際宣教神学校　合計　　至　２００４年１２月３１日

経常支出の部				経常収入の部			
コード	科目名	金額	備考	コード	科目名	金額	備考
	宗教活動支出	42,068,324			宗教活動収入	36,682,998	
	宗教活動費	5,138,667			献金収入	0	
８３１	祭議費	614,236		612-1	月定献金収入		
８３２	行事費	82,360		612-2	ミサ献金収入		
８３３	布教教化費			612-3	特別献金収入		
８３４	教育養成費	3,893,502		612-4	特別事業献金収入		
８３５	諸会費	3,000		612-5	臨時献金収入		
８３６	図書資料費	153,069		612-6	祭儀収入		
８３７	出版刊行費	352,970		612-7	教区維持献金収入		
８３８	教区維持費			612-8	本部費		
８４１	諸活動費	19,530		612-9	墓地等使用料収入		
８４２	一般・特別寄付金	20,000					
	指定献金支出	0			指定献金収入	0	
843-1	児童福祉の日			613-1	児童福祉の日		
843-2	世界広報の日献金			613-2	世界広報の日献金		
843-3	世界難民移住移動者の日			613-3	世界難民移住移動者の日		
843-4	世界宣教の日献金			613-4	世界宣教の日献金		
843-5	宣教地司祭育成献金			613-5	宣教地司祭育成献金		
843-6	聖ペトロ使徒座献金			613-6	聖ペトロ使徒座献金		
843-7	愛の運動献金			613-7	愛の運動献金		
843-8	一粒会献金			613-8	一粒会献金		
843-9	聖地献金			613-9	聖地献金		
843-10	教区の日献金			613-10	教区の日献金		
	維持管理費	5,180,121		613-11	墓地管理収入		
８４４	施設設備修繕費	5,100,851					
８４５	備品修繕費	0			寄付金収入	29,031,276	
８４６	墓地管理費			614-1	特別寄付金収入		
８４７	火災保険料	79,270		614-2	一般寄付金収入	28,881,276	
				614-3	司祭寄付金収入	150,000	

	人　件　費	1,490,647					
848	司祭給与				補助金収入	7,651,722	
849	職員給与			614-5	教区本部補助金		
851	法定福利費	425,200		614-6	その他の補助金	7,651,722	
852	退職金						
853	福利厚生費	1,065,447			分担金収入	0	
				614-7	分担金収入		
	事務運営費	30,258,889					
854	消耗品費	2,647,897					
855	消耗備品費	555,416					
856	通信費	1,702,786					
857	渉外費	202,662					
858	旅費交通費	8,662,299					
859	水道光熱費	2,394,811					
861	租税公課	505,527					
862	支払手数料	945					
863	自動車諸費	4,081,345					
864	会議費	150,000					
865	賃借料	1,533,795					
869	雑費	1,121,625					
867	賄い費	6,699,781					
	事業支出	0			事業収入	0	
712-1	駐車場事業支出			615-1	駐車場事業収入		
712-2	施設設備利用支出			615-2	施設設備利用収入		
712-3	宗教用品仕入支出			615-3	宗教用品売上収入		
	その他の支出	0			その他の収入	29,383	
921	支払利息			911	受取利息	1,171	
922	雑支出			912	受取配当金		
923	補助金支出			913	電話使用料収入		
924	分担金支出			914	雑収入	28,212	
925	司教館建設資金献金支出			915	司祭館建設資金献金収入		
	経常支出合計	42,068,324	B		経常収入合計	36,712,381	A
	固定資産取得支出	146,800			固定資産売却収入	0	
941-1	土地取得支出			931-1	土地売却収入		
941-2	建物取得支出			931-2	建物売却収入		
941-3	建物付属設備取得			931-3	建物付属設備売却		
941-4	構築物取得支出			931-4	構築物売却収入		
941-5	車両運搬具取得支出			931-5	車両運搬具売却収入		
941-6	器具備品取得支出	146,800		931-6	器具備品売却収入		
941-7	祭儀備品取得支出			931-7	祭儀備品売却収入		
941-8	電話加入権取得支出			931-8	電話加入権売却収入		
942	特定預金積立金支出			932	特定預金取崩収入		
	その他の支出	10,698,731			その他の収入	11,334,596	
943-1	借入金返済支出	104,526		933-1	借入金収入	0	
943-2	貸付金支出			933-2	貸付金回収収入		
943-3	預り金支出	3,452,300		933-3	預り金収入	3,878,300	
943-4	立替金支出			933-4	立替金回収収入		
943-5	仮受金支出			933-5	仮受金収入		
943-6	仮払金(前払費用)支出	7,141,905		933-6	仮払金（前払費用)収入	7,456,296	
943-7	雑損失			933-7	その他収入		
943-8	その他支出						
944	特別補助金支出			934	特別補助金収入	1,438,800	バチカン
	財務支出合計　D	10,845,531			財務収入合計　C	12,773,396	
	支出合計　F＝B＋D	52,913,855			収入合計　E＝A＋C	49,485,777	
442	※　次期繰越金　H	51,495,674		451	前期繰越金　G	54,923,752	
	合　計　F＋H	104,409,529			合　計　E＋G	104,409,529	

※次期繰越金Hは財産目録の現金預貯金合計と一致する　　＊　合計(F＋H)＝合計(E＋G)

資金収支計算書３

宗教法人　カトリック高松司教区
全教会　合計

自　２００４年　１月　１日
至　２００４年１２月３１日

経常支出の部				経常収入の部			
コード	科目名	金額	備考	コード	科目名	金額	備考
	宗教活動支出	117,816,272			宗教活動収入	143,240,269	
	宗教活動費	44,709,736			献金収入	122,369,164	
831	祭議費	7,828,315		612-1	月定献金収入	62,016,131	
832	行事費	3,023,482		612-2	ミサ献金収入	15,854,290	
833	布教教化費	1,686,940		612-3	特別献金収入	9,266,628	
834	教育養成費	555,411		612-4	特別事業献金収入	13,684,756	
835	諸会費	1,195,120		612-5	臨時献金収入	5,720,959	
836	図書資料費	1,033,858		612-6	祭儀収入	13,536,100	
837	出版刊行費	854,305		612-7	教区維持献金収入	970,300	
838	教区維持費	13,733,695		612-8	本部費	0	
841	諸活動費	7,290,649		612-9	墓地等使用料収入	1,320,000	
842	一般・特別寄付金	7,507,961					
	指定献金支出	5,601,555			指定献金収入	5,263,833	
843-1	児童福祉献金	565,407		613-1	児童福祉献金	554,957	
843-2	広報の日献金	343,545		613-2	広報の日献金	337,245	
843-3	世界難民移住移動者の日	353,052		613-3	世界難民移住移動者の日	342,642	
843-4	世界宣教の日献金	411,147		613-4	世界宣教の日献金	405,797	
843-5	宣教地司祭育成献金	363,184		613-5	宣教地司祭育成献金	345,184	
843-6	聖ペトロ聖座献金	360,091		613-6	聖ペトロ聖座献金	351,691	
843-7	愛の運動献金	1,085,763		613-7	愛の運動献金	959,442	
843-8	一粒会献金	1,795,176		613-8	一粒会献金	1,763,640	
843-9	聖地献金	209,990		613-9	聖地献金	203,235	
843-10	教区の日献金	114,200		613-10	教区の日献金	0	
	維持管理費	13,366,565		613-11	墓地管理収入	1,158,683	
844	施設設備修繕費	10,606,849					
845	備品修繕費	706,291			寄付金収入	10,702,989	
846	墓地管理費	455,000		614-1	特別寄付金収入	6,669,024	
847	火災保険料	1,598,425		614-2	一般寄付金収入	3,813,965	
				614-3	司祭寄付金収入	220,000	
	人件費	22,283,941					
848	司祭給与	4,729,252			補助金収入	3,673,600	
849	職員給与	16,223,475		614-5	教区本部補助金	0	
851	法定福利費	1,079,654		614-6	その他の補助金	3,673,600	
852	退職金	0					
853	福利厚生費	251,560			分担金収入	72,000	
				614-7	分担金収入	72,000	
	事務運営費	31,854,475					
854	消耗品費	2,580,882					
855	消耗備品費	1,059,959					
856	通信費	3,575,337					
857	渉外費	2,869,456					
858	旅費交通費	803,601					
859	水道光熱費	13,225,624					
861	租税公課	1,466,370					
862	支払手数料	138,555					
863	自動車諸費	2,672,063					
864	会議費	132,399					
865	賃借料	1,633,416					
869	雑費	1,696,813					
	事業支出	5,477,754			事業収入	12,948,278	
712-1	駐車場事業支出	150,000		615-1	駐車場事業収入	6,250,500	
712-2	施設設備利用支出	0		615-2	施設設備利用収入	814,222	
712-3	宗教用品仕入支出	5,327,754		615-3	宗教用品売上収入	5,883,556	
	その他の支出	19,002,074			その他の収入	3,414,719	
921	支払利息	0		911	受取利息	46,133	
922	雑支出	22,429		912	受取配当金	50,330	
923	補助金支出	0		913	電話使用料収入	9,680	
924	分担金支出	18,979,645		914	雑収入	3,308,576	
925	司教館建設資金献金支出	0		915	司祭館建設資金献金収入	0	
	経常支出合計	142,296,100	B		経常収入合計	159,603,266	A

	固定資産取得支出	36,809,948			固定資産売却収入	0	
941-1	土地取得支出	22,000,000		931-1	土地売却収入	0	
941-2	建物取得支出	5,075,700		931-2	建物売却収入	0	
941-3	建物付属設備取得	3,050,000		931-3	建物付属設備売却	0	
941-4	構築物取得支出	928,200		931-4	構築物売却収入	0	
941-5	車両運搬具取得支出	0		931-5	車両運搬具売却収入	0	
941-6	器具備品取得支出	5,521,048		931-6	器具備品売却収入	0	
941-7	祭儀備品取得支出	235,000		931-7	祭儀備品売却収入	0	
941-8	電話加入権取得支出	0		931-8	電話加入権売却収入	0	
９４２	特定預金積立金支出	9,865,765		９３２	特定預金取崩収入	17,763,906	
	その他の支出	16,303,335			その他の収入	11,140,540	
943-1	借入金返済支出	9,670,000		933-1	借入金収入	6,000,000	
943-2	貸付金支出	0		933-2	貸付金回収収入	0	
943-3	預り金支出	5,068,172		933-3	預り金収入	4,053,593	
943-4	立替金支出	681,642		933-4	立替金回収収入	535,570	
943-5	仮受金支出	603,401		933-5	仮受金収入	301,377	
943-6	仮払金(前払費用)支出	280,120		933-6	仮払金（前払費用)収入	250,000	
943-7	雑　損　失	0					
943-8	その他支出	0					
９４４	特別補助金支出	0		９３４	特別補助金収入	10,000,000	
	財務支出合計　D	62,979,048			財務収入合計　C	38,904,446	
	支出合計　F＝B＋D	205,275,148			収入合計　E＝A＋C	198,507,712	
４４２	＊次期繰越金　H	109,217,977		４５１	前期繰越金　G	115,985,413	
	合　　計　F＋H	314,493,125			合　　計　E＋G	314,493,125	

＝カトリック高松司教区現勢報告＝

2004年12月31日現在

1. 概況

信者総数 5,285 人
（前年比 122 人減）

	香川県	愛媛県	高知県	徳島県	合　計
面　　積	1,876.16 Km²	5,676.76 Km²	7,104.87 Km²	4,145.46 Km²	18,803.25 Km²
人　　口	1,019,833 人	1,473,341 人	806,289 人	816,163 人	4,115,626 人
前年度信徒数	1,566 人	2,102 人	839 人	733 人	5,240 人
信　　徒	1,527 人	2,031 人	852 人	724 人	5,134 人
司教・司祭	18 人	19 人	7 人	4 人	48 人
助　　祭	人	人	人	人	人
修道士	人	人	人	人	人
修道女	42 人	29 人	9 人	1 人	81 人
神学生	22 人	人	人	人	22 人
総　　数	1,609 人	2,079 人	868 人	729 人	5,285 人
前年度総数	1,655 人	2,153 人	860 人	739 人	5,407 人

2. 人員構成

司教		2 人
教区司祭		17 人
宣教・修道司祭	ドミニコ会	11 人
	オブレート会	10 人
	スペイン外国宣教会	6 人
	イエズス会	1 人
	ローマ教区	1 人
	宣教・修道司祭小計	29 人
助祭		人
神学生		22 人
修道士		人
修道女	聖ドミニコ宣教修道女会	53 人
	松山修道院	13 人
	北条修道院	12 人
	新居浜修道院	4 人
	坂出修道院	20 人
	小豆島修道院	4 人
	聖心の布教姉妹会	7 人
	聖母被昇天修道会	5 人
	神の母マリア修道院	13 人
	オタワ愛徳修道女会	2 人
	大阪聖ヨゼフ宣教修道女会	1 人
	修道女小計	81 人

3. 諸施設

(1)	教会	
	小教区	26 所
	巡回教会	3 所
	布教所	1 所
(2)	修道院	
	男子修道院	2 所
	女子修道院	10 所
(3)	教育施設	
	教区立国際宣教神学院	22 人
	聖カタリナ女子大学	472 人
	聖カタリナ女子短期大学	402 人
	愛光学園高等学校	724 人
	聖カタリナ女子高等学校	1,470 人
	愛光学園中学校	597 人
	幼稚園（23 園）	3,082 人
(4)	社会福祉施設	
	聖マルチン病院	196 床
	聖マルチンの園	50 人
	聖マルチンの家	55 人
	マリアの園	50 人
	聖園天使園	75 人
	聖園ベビーホーム	28 人
	保育所（2 園）	1,080 人

4. 教区内組織

- 教区顧問会
- 地区長会
- 司祭評議会
- 経済問題評議会
- 修道女連盟
- カトリック幼稚園連盟
- 教区信徒使徒職協議会
- 地区　〃　（4 県）
- 小教区　〃　(26)
- レジオ・マリエ
- ヴィンセンシオ会
- カトリック看護協会
- カトリック医師会
- カトリック・ボーイスカウト指導者協議会
- 教会学校教師会
- カトリック高校生会
- クリスチャン・ライフ・コミュニティー
- マリッシ・エンカウンター
- 正義と平和協議会
- カトリック女性連合会
- 共助組合
- 結婚互助会

5．信徒数動向

教会名	信徒数				洗礼		転出入		死亡	堅信	初聖体	求道者	教会学校		ミサ参加			結婚			
	男性	女性	総数	不明	幼	成	入	出					信	未	主日	復活	降誕	①	②	③	④
桜町	306	502	808	56	11	4	8	13	6	12	13	7	19	0	300	450	480	0	0	0	14
番町	69	115	184	0	0	0	1	3	2	0	1	1	14	0	50	70	140	0	0	0	1
小豆島	25	34	59	7	0	20	0	0	16	0	0	10	0	0	14	20	40	0	0	0	0
三本松	22	27	49	2	0	2	0	3	0	2	0	9	1	0	47	52	67	0	0	0	1
坂出	67	131	198	0	0	3	6	23	2	3	5	17	4	6	130	200	250	0	2	0	2
丸亀	32	96	128	0	1	0	5	0	1	3	3	11	13	0	35	45	63	0	0	1	0
観音寺	6	25	31	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	15	27	60	0	0	0	0
善通寺	21	49	70	0	0	0	2	2	0	0	0	4	7	7	15	30	90	0	0	0	80
香川県計	548	979	1,527	65	12	29	22	44	27	20	22	60	58	13	606	894	1,190	0	2	1	98
松山	343	675	1,018	4	14	11	6	13	8	7	6	20	41	0	275	560	670	0	3	0	6
道後	53	106	159	2	1	1	3	1	2	0	0	1	0	0	50	80	150	0	2	0	2
今治	130	221	351	194	2	0	5	0	1	0	0	3	1	7	45	100	275	0	0	1	4
新居浜	89	134	223	3	1	1	3	2	1	0	6	6	9	0	45	100	120	0	0	0	1
西条	15	39	54	12	1	0	3	1	2	0	0	3	3	9	14	75	37	0	0	0	0
郡中	18	43	61	0	0	0	2	0	1	0	6	4	13	2	30	50	120	0	0	0	0
八幡浜	29	45	74	0	0	0	3	0	3	0	5	2	2	0	20	40	60	0	0	0	0
宇和島	23	52	75	0	0	3	0	3	0	5	4	3	0	0	30	120	130	0	0	0	8
伊予三島	7	9	16	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	4	15	20	0	0	0	0
愛媛県計	707	1,324	2,031	216	19	16	25	20	19	12	27	44	69	18	513	1,140	1,582	0	5	1	21
中島町	150	269	419	7	4	2	10	2	7	2	2	7	13	0	170	360	380	0	0	3	42
江の口	80	117	197	0	2	0	1	8	2	2	4	0	23	21	50	110	130	0	0	0	0
安芸	10	29	39	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	16	18	0	0	0	0
赤岡	10	23	33	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	15	30	68	0	0	0	0
中村	38	126	164	11	3	0	2	2	0	0	3	0	18	0	12	65	75	0	0	0	1
高知県計	288	564	852	18	9	3	14	12	11	5	10	7	54	21	254	581	671	0	0	3	43
徳島	142	278	420	0	6	3	5	4	4	3	0	4	26	6	80	287	395	0	1	0	4
鳴門	72	110	182	0	1	1	2	0	0	0	3	3	13	0	40	70	170	0	0	0	0
阿南	35	52	87	2	0	0	0	3	2	0	0	3	0	0	15	25	35	0	0	0	0
池田	12	23	35	0	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	5	8	7	0	0	0	0
徳島県計	261	463	724	2	7	5	8	9	7	4	4	10	39	6	140	390	607	0	1	0	4
教区総計	1,804	3,330	5,134	301	47	53	69	85	64	41	63	121	220	58	1,513	3,005	4,050		8	5	166
前年度	1,866	3,374	5,240	315	34	44	60	146	72	47	52	143	215	44	1,420	2,803	3,942	1		20	217

【結婚】　①＝カトリック同士　②＝カトリックと他のキリスト教　③＝カトリックと他の宗教　④＝非カトリック同士

二〇〇四年度決算を公表するにあたって

二〇〇五年五月三一日

主任神父様
信徒会長様
信徒の皆様

カトリック高松司教区
司教　溝部　脩

司教が、この文を書くことの抵抗を感じるが、昨年半年事務局長の仕事を兼務したこともあり、また、半分以上教区会計に足を入れたので、二〇〇四年度決算を公表するにあたって、幾つかの留意点を掲げたい。

1　教区事務会計、並びに教区基金会計について

今年度の収支バランスは悪くなく、繰越金を計上している。しかし、これは司教着座、佐々木光雄師葬儀、百周年行事などの行事が目白押しであったから出た収益である。教区本部の経常費そのものが健全であるとは言えない。ただし、小教区の分担金が規定どおりに提出されたのは好ましい傾向である。教区基金会計については、目的に添って今後、勘定科目の整理、その他事務的な問題が残されている。教区活性化基金として蓄えていく必要がある。

2　指定献金について

一時預かり金としての性格であり、収支はゼロで終了するはずのものである。中央協議会への送金額がばらばらであり、過年の残金があるなど事務処理上の問題がある。今後これを処理していく方向で扱う。一粒会献金は幅広い解釈のもとに活用する方法を考える。

3　神学院会計、並びに教区司祭会計について

教区司祭会計は司祭同志の相互扶助の目的で集められたものであり、個人の財産という性格を有する。ただし、それ以外の目的のものがあれば、それは教区本部会計に入れられるはずのものである。今後これについても整理する必要がある。神学院会計に関しては、今後報告を求め、詳細を作成する必要がある。

4　全小教区会計について

①　教区全体は黒字であるが、ある小教区は極度に貧しい。相互扶助の精神が求められる。

②　情報開示は大切であり、経済問題に関しても同様である。

③　決算では、年間行事予定に沿って組まれた予算をどのように実行したかを調べないといけない。予算を組むにあたって、教区が何をしたいかを明確に打ち出すことが大切である。

ごあんない

高松教区信徒研修会

第３２回高松教区信徒研修会を開催します。みなさまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日　　時　9月3日（土）18：00～4日（日）14：30
場　　所　カトリック中島町教会　高知市鷹匠町2-1-33
研修会講話　メインテーマ「家庭と社会そして宗教」
講　　師　森　一弘　司教
参加申込み先　カトリック中島町教会・Tel 088-872-3658　Fax 088-872-3653
宿　泊　先　高知会館・・・・・・・Tel 088-823-7123　Fax 088-823-7127
グリーン会館・・・・・Tel 088-825-2701　Fax 088-825-2703
教会のテレジア館・・・中島町教会に申し込んでください。
（恐れ入りますが、宿泊は各小教区で予約してください。）

9月3日（土）午後、研修会に先立って、
ケルン大会に参加した青年の報告会も考慮中です。

高知地区信徒使徒職協議会
会長　岡副 俊雄

2005高松教区民のつどい

みなさま、9月19日（月・敬老の日）は松山でお会いしましょう。

溝部脩司教様が高松教区に着座されて約1年になります。その間、「高松教区の一致」を目指して、私たちのために日夜働いてくださっています。

その一環としてこの度、四国の信徒の皆様が一堂に会して司教様のお話を聞き、対話し、信徒の催事をとおして分ち合いを深めることを目的に下記のような会を開催することになりました。

この会は従来の「教区の日」に替わるものです。みなさまのご協力を得て新しい出発をしたいと考えています。

会のプログラム等は後日ご案内いたします。みなさまのご出席と催事への積極的なご参加をお待ちしています。

記

名　称　「2005高松教区民のつどい」
テーマ　「教区の一致を目指して」
講　師　溝部　脩　司教
日　時　2005年9月19日（月・敬老の日）10：00～16：00
場　所　聖カタリナ女子高等学校（松山市）
主　催　高松教区信徒使徒職協議会
主　管　愛媛地区信徒使徒職協議会

前夜祭を、9月18日（日）夕刻、
道後教会にて開催するよう調整中です。

愛媛地区信徒使徒職協議会
実行委員会

編集後記

「家族信者」ということばを、四国に来て初めて聞きました。長崎の信者はほとんど「家族信者」です。そして信仰生活は日常生活の中に溶け込んでいます。

このことばは、高松教区と長崎教区の信者の違いをよく表しているのではないかと思います。信仰は全人間的な行為ですから、家族的あるいは共同体的な側面があるし、また必要でもあると思います。しかし信仰が十分に成熟していないと、その集団から離れるとき挫折してしまう危険があります。

逆に、自身で決断した信仰は熱が冷めるとき、あるいはいつも養われていないと危険に陥るのではないか。教区報が横のつながりを強める力になれたらと思います。聖霊降臨祭には司教教書が配布されました。本号には、教区会計決算書と司教のコメントが載っています。教区民が共通の関心を持ち、共通の目標に歩み始めるとき、強力な宣教共同体に変身できるのではないでしょうか。

（教区事務局長浜口末雄）